

浜の活力再生プラン

令和 6 ～10 年度

第 3 期

1 地域水産業再生委員会

組織名	高知地区地域水産業再生委員会芸東部会
代表者名	山川 奉明（高知県漁業協同組合芸東ブロック委員長）

再生委員会の構成員	高知県漁業協同組合、羽根町漁業協同組合、室戸市、東洋町 高知県室戸漁業指導所
オブザーバー	－

対象となる地域の範囲及び漁業の種類	地域：高知県室戸市（佐喜浜町地区・椎名地区・三津地区・高岡地区・室戸岬地区・室戸地区・羽根町地区）、 安芸郡東洋町（甲浦地区） 対象漁業種類（令和 6 年 3 月時点）： 大型定置網漁業（4 経営体）、 近海マグロはえ縄漁業（27 経営体）、 沿岸釣り漁業（兼業含む 213 経営体）
-------------------	---

2 地域の現状

(1) 関連する水産業を取り巻く現状等

当プランは高知県東部の「室戸市」全域および「東洋町」の一部が対象になっており、当該地域では定置網漁業、沿岸釣り漁業及び近海まぐろはえ縄漁業を中心とした漁業が盛んに行われている。それぞれの漁業における現状と課題は下記の通りである。

(1) 定置網漁業

室戸市東部海域は、明治時代から 100 年以上続く好漁場として知られており、室戸市内には 4 つの地区で大型定置網が営まれている。大型定置網は、本地域の水揚量の 9 割近くを占める基幹漁業となっており、あじ類、さば類、ブリを主体としている。水揚量が不安定で多くの種類が漁獲される定置網漁業にとって、単価向上は従前から大きな課題であり、地元及び県内でのイベントでは漁業者が定置網で獲れた鮮魚を販売し、定置網漁獲物のアピールを積極的かつ継続的に行ってきた。また、第 2 期浜の活力再生プランでは活魚出荷の取り組みも行われた。

ブリは水揚金額の 3 割～4 割を占める最重要魚種であるが、盛期である 3 月～5 月に大量に入網するため、低単価で販売されることが大きな課題となっていた。そこで、室戸市の大型定置網経営体で組織される「室戸市定置漁業振興協議会」は、令和 4 年度より地域ブランド「室戸春ぶり」を立ち上げ、知名度向上による単価向上を目指している。前述のイベントにおける販売取組や活魚出荷を含め、これらの取組は再生委員会の構成員である漁協や市町、高知県室戸漁業指導所が積極的に支援している。

一方で、黒潮大蛇行の影響や温暖化による回遊ルートの変化、資源量の減少等により、室戸市内の大型定置網の漁獲量は令和元年の 5.4 千トンから令和 5 年の 4.1 千トンと大きく減少している。その中で漁獲量が増加し、大型定置網の経営を支える重要な収入源となっている種として、キハダが挙げられる。本種は定置網漁獲物の中で比較的高単価であることから、水揚金額に占める割合は令和元年度の 0.2% から令和 5 年度の 17% に急増した。しかし、大型定置網では一度に数十～数百尾のキハダが漁獲されるため、まぐろはえ縄漁業で普通の作業になりつつある船上での内臓除去はほとんどおこなわれていないことから、体の中まで十分に冷却されず、「身やけ」と呼ばれる品質劣化が起り、他の漁法や地域よりも低単価で取引されている状況にある。

（２）きんめだい釣り漁業

本地域の沿岸釣り漁業は、高単価なキンメダイが主要な漁獲対象となっており、季節的にメダイ、さば類、カツオ、まぐろ類、スルメイカといった様々な魚種も漁獲されている。当地域で漁獲されるキンメダイは、西日本で最も漁獲量が多く、日戻り操業のため関東地域で漁獲されるキンメダイに比べ鮮度が高いことから、地元漁業者が組織する「芸東水産業改良普及協議会」によって「土佐沖どれ金目鯛」としてブランド化されている。このため、第２期浜の活力再生プランではブランドアピールを主としたキンメダイの魚価向上に取り組むとともに、過去に行われていた「掃海」と呼ばれる漁場の清掃を令和４年度から再開し、海底の不要な漁具を除去して漁場環境を向上させようとした。これらの取組は再生委員会の構成員である漁協や市町、高知県室戸漁業指導所が積極的に支援した。

しかし、キンメダイは黒潮大蛇行の影響により関東からの来遊量が大きく減少しており、その水揚げ金額は令和元年度に５.６億円であったが、令和５年度には０.４億円にまで激減した。このため、キンメダイ漁業者は他の魚種を釣獲することで経営継続を図ろうとしているが、キンメダイの代替になり得る魚種や漁法は出現していない。

（３）近海まぐろはえ縄漁業

当地域は近海まぐろ船の基地として室戸市に１９隻、東洋町に７隻（高知県の漁船統計表より、令和４年１２月３１日時点）の近海まぐろはえ縄船が所属しており、北西太平洋の日本近海で操業している。その範囲を見ると、北は青森県沖や岩手県沖から南は小笠原諸島東部までと広く、秋期から春期にかけてはクロマグロやメバチといった高単価種を北方の海域で漁獲し、夏期においては低単価なビンナガを南方の海域で漁獲している。この漁業は移動距離が長いことが特徴で、年間の総移動距離が平均約３万ｋｍにもなることから、近年の燃油高騰が経営に大きな影響を及ぼしている。第２期浜の活力再生プランでは、漁獲したまぐろ類やかじき類を船上で内臓を抜く高鮮度処理を施すとともに、漁業者が組織するグループによるまぐろ解体ショーにより近海まぐろはえ縄漁業をアピールすることで単価を向上させようとした。

（４）その他の漁業

当地域の沿岸域は岩礁域が主体となっており、岩礁域に生息する魚介類を潜水や釣り、刺網等で漁獲する小規模な漁業も営まれているが、テングサやトコブシの漁獲量は大きく減少している。市町や漁業者は資源の維持や増殖のため、トコブシやイサキ、ヒラメ等を継続して放流している。

（２）その他の関連する現状等

高知県の東端に位置する当地域は、東洋町は２,１１１名（東洋町広報令和６年４月号より、令和６年２月末時点）、室戸市は１１,４４４名（室戸市ホームページより、令和６年５月末時点）となっている。当地域は漁業で栄えており、１次産業への従事者が多いが、平成３０年時点の漁業従事者数は４５５名（漁業センサス２０１８より）で、平成１０年の６３４名から２８％減少している。

観光では、昭和３９年に室戸阿南海岸国定公園の指定を受けた風光明媚な海岸線を有しており、特に室戸岬周辺は有名な観光地となっている。室戸岬の東部は急峻な地形となっており、海洋深層水の採取が比較的容易なことから、地元では全国に先駆けて海洋深層水の利活用に取り組まれた。また、この地形に注目し、平成２３年には世界ジオパークに認定されたことや、過疎化で廃校となった学校を「むろと廃校水族館」として利用する取組によって知名度が向上したこともあり、全国から多くの観光客が来訪している。また、徳島県との県境に位置する東洋町は、白砂青松の美しい砂浜が広がる白浜海岸と、全国屈指のサーフポイントである生見海岸で有名である。

本地域の交通アクセスは、室戸市中心部まで、高知市内から車で約２時間、徳島市内からは約３時間を要し、主要な道も国道５５号しかなく、交通網は極めて脆弱である。このため、当地域で水揚げされた魚介類の主要な販売先となる東京や大阪等の都市圏への流通は陸路しかなく、輸送時間が長時間に及ぶことが課題となっている。最近では法改正等によりさらに多くの輸送時間がかかるようになってきており、単価下落への影響が懸念されている。

3 活性化の取組方針

(1) 前期の浜の活力再生プランにかかる成果及び課題等

--

(2) 今期の浜の活力再生プランの基本方針

前期の評価を踏まえつつ、以下の基本方針を定め、漁業者の所得向上に取り組む。併せて漁村の活性化も図る。

■漁業収入向上の取組

(1) 定置網漁業

- ・キハダの高鮮度処理
- ・地域ブランド「室戸春ぶり」関連のイベント開催やPRによる知名度向上
- ・イベントへの定置漁獲物の出品による知名度向上

(2) きんめだい漁業

- ・地域ブランド「土佐沖どれ金目鯛」の販促活動

(3) 近海マグロ延縄漁業

- ・船上における内臓除去による高鮮度処理

(4) その他の漁業

- ・種苗放流
- ・アオリイカ産卵床設置

(5) 全漁業種類共通

- ・漁業構成の変化に伴って利便性が低下した上架施設の改修や機能強化を進めることで船のメンテナンス作業を効率化し、出漁頻度を増加

■漁業コスト削減のための取組

(1) きんめだい漁業

- ・キンメダイ漁場を掃海して漁場を保全し、根掛かりを防止することで、漁具の紛失コストを削減

(2) 近海まぐろはえ縄漁業

- ・南方漁場での操業を控えることによる燃油削減

(3) 全漁業種類共通

- ・省エネエンジンの導入、船底清掃の徹底、出漁時間の前倒し、減速航行の徹底による燃油消費量の削減
- ・漁業経営セーフティーネット構築事業、資源管理・漁業経営安定対策などを活用した漁業経営の安定化

■漁村の活性化のための取組

(1) 全漁業種類共通

- ・人員不足や担い手不足による廃業への対応策として、高知県漁業就業支援センターと連携し、高知県内外で行われている漁業就業フェア、高校の取組として行われる説明会へ積極的に参加
- ・国や県の支援事業を積極的に活用することで漁業就業希望者の受け入れを行うとともに、新規就業者を対象とした各種研修を積極的に行い、将来を担う中核的漁業者を育成

(3) 資源管理に係る取組

(1) 定置網漁業

- ・当地域で定置網漁業を営む4経営体における全ての網（9統（網））は、資源管理のために網上げ期間を設けている。6統（網）は7月～9月のうち10日間～40日間、残り3統（網）は周年のうち40日間は網を上げ操業停止による資源管理に取り組んでいる。
- ・クロマグロについては、資源管理基本方針及び高知県資源管理方針に定められたくろまぐろ（小型魚）及びくろまぐろ（大型魚）に係る資源管理の内容を遵守するとともに、高知県助言・指導・勧告指針に基づく助言、指導又は勧告の内容を実施している。
- ・高知海区漁業調整委員会指示第89号（高知県海面におけるうみがめの採捕について）、高知海区漁業調整委員会指示第100号（高知海区内における定置漁業の保護区域及び免許区域について）に基づく資源管理も行っている。

(2) きんめだい釣り漁業

- ・キンメダイ漁業者は地元漁業者の間で「芸東地区沿岸漁業協議会申し合せ事項（以下、申し合せ事項）」で規定された操業ルールを遵守している。申し合せ事項では、深海はえ縄の全面禁止、キンメダイにおける火光利用の禁止、漁具の針数制限、操業時間及び漁場の制限を行うこと等が規定されており、資源管理に取り組んでいる。
- ・資源管理協定に参加している23名のキンメダイ漁業者は、年間60日以上のお休みを行うことで資源管理に取り組んでいる。

(4) 具体的な取組内容

1年目（令和6年度） 所得向上率（基準年比）12.54%

漁業収入向上のための取組	(1) 定置網漁業 ・キハダの高鮮度処理について、全ての時期において船上で処理することはハードルが高いことから、まずは脂が乗っている旬の時期に限って高鮮度処理に取り組む。そのため、1年目は年間の体脂肪率の変化を調査し、旬の時期を探る。 ・地域ブランド「室戸春ぶり」の知名度向上について、イベントや販促物、メディアを活用してブランドをPRし、知名度向上を図る。 ・地元ならびに県内で実施されるイベントへ「定置朝どれ鮮魚」を出品し、知名度向上を図る。 (2) きんめだい釣り漁業 ・地元ならびに県内で実施されるイベントで鮮魚や加工品を販売し、知名度向上を図る。 ・ふるさと納税やネット販売でキンメダイを扱う業者にはブランドの販促資材を配布し、商品発送時に同梱してもらうことで全国の消費者にアピールする。 ・リーフレットを始めとした販促資材が古くなってきていることから、更新する。 (3) 近海まぐろはえ縄漁業 ・第2期浜の活力再生プランから取り組んできた内臓を抜く高鮮度処理に取り組む。 (4) その他漁業 ・ヒラメやトコブシといった高単価魚種の種苗放流を実施する。 ・アオリイカ産卵床設置事業を実施する。
漁業コスト削減のための取組	(1) 全漁業種類共通 ・船底清掃と減速航行、出漁時間の前倒しを徹底し、省燃油効果のある船底塗料の使用することで燃料使用量の削減を図る。 ・各種公的支援事業の活用を検討し、新たな主機関や省エネ機器の導入による燃油消費量の削減を図る。 ・漁業経営セーフティーネット構築支援事業、漁業収入安定対策事業の加入を促進し、制度加入漁業者の漁業経営の安定化を図る。

	(2) きんめだい釣り漁業 ・キンメダイ漁場で掃海事業を実施し、漁場を保全する。 (3) 近海まぐろ延縄漁業 ・南方漁場での操業を控え、他の漁場を選択することで燃油使用量を削減する。
漁村の活性化のための取組	・高知県漁業就業支援センターや国が漁業就業フェアへ参加し、新規漁業就業者の確保に努める。また、高知県漁業就業支援センターの研修制度を活用することで就業のミスマッチを回避し、就業者の定着を促進する。
活用する支援措置等	・漁業経営セーフティーネット構築支援事業 ・漁業収入安定対策事業 ・高知県燃油等高騰緊急対策設備投資支援事業費補助金 ・クロマグロ混獲回避活動支援事業

2 年目（令和 7 年度） 所得向上率（基準年比）13.84%

漁業収入向上のための取組	(1) 定置網漁業 ・キハダの1年目の体脂肪率調査を継続実施する。 ・キハダの体脂肪率が高くなる時期に1大型定置網経営体で船上における内臓を除去する高鮮度処理を試験的に1か月間取り組む。 ・地域ブランド「室戸春ぶり」の知名度向上について、イベントや販促物、メディアを活用してブランドをPRし、知名度向上を図る。 ・地元ならびに県内で実施されるイベントへ「定置朝どれ鮮魚」を出品し、知名度向上を図る。 (2) きんめだい釣り漁業 ・地元ならびに県内で実施されるイベントで鮮魚や加工品を販売し、知名度向上を図る。 ・ふるさと納税やネット販売でキンメダイを扱う業者に新たに製作した販促資材を配布し、商品発送時に同梱してもらい、全国の消費者にアピールする。 (3) 近海まぐろ延縄漁業 ・内臓を抜く高鮮度処理の取組を実施する。 (4) その他漁業 ・ヒラメやトコブシといった高単価魚種の種苗を放流する。 ・1年目と同様にアオリイカ産卵床設置事業を実施する。
漁業コスト削減のための取組	(1) 全漁業種類共通 ・船底清掃と減速航行、出漁時間の前倒しを徹底し、省燃油効果のある船底塗料の使用することで燃料使用量の削減を図る。 ・各種公的支援事業の活用を検討し、新たな主機関や省エネ機器の導入による燃油消費量の削減を図る。 ・漁業経営セーフティーネット構築支援事業、漁業収入安定対策事業の加入を促進し、制度加入漁業者の漁業経営の安定化を図る。 (2) きんめだい釣り漁業 ・キンメダイ漁場で掃海事業を実施し、漁場を保全する。 (3) 近海まぐろ延縄漁業 ・南方漁場での操業を控え、他の漁場を選択することで燃油使用量を削減する。
漁村の活性化のための取組	・高知県漁業就業支援センターや国が漁業就業フェアへ参加し、新規漁業就業者の確保に努める。また、高知県漁業就業支援センターの研修

	制度を活用することで就業のミスマッチを回避し、就業者の定着を促進する。
活用する支援措置等	・漁業経営セーフティーネット構築支援事業 ・漁業収入安定対策事業 ・高知県燃油等高騰緊急対策設備投資支援事業費補助金 ・クロマグロ混獲回避活動支援事業

3 年目（令和 8 年度） 所得向上率（基準年比）15.18%

漁業収入向上のための取組	（1）定置網漁業 ・キハダの体脂肪調査から推定された旬の時期や盛漁期となる 5、9、10 月に 1 年目に取組を実施した 1 大型定置網経営体で少なくとも 3 か月間高鮮度処理を実施する。 ・地域ブランド「室戸春ぶり」の知名度向上について、イベントや販促物、メディアを活用してブランドを PR し、知名度向上を図る。 ・地元ならびに県内で実施されるイベントへ「定置朝どれ鮮魚」を出品し、知名度向上を図る。 （2）きんめだい釣り漁業 ・地元ならびに県内で実施されるイベントで鮮魚や加工品を販売し、知名度向上を図る。 ・ふるさと納税やネット販売でキンメダイを扱う業者に新たに製作した販促資材を配布し、商品発送時に同梱してもらい、全国の消費者にアピールする。 （3）近海まぐろ延縄漁業 ・内臓を抜く高鮮度処理の取組を実施する。 （4）その他漁業 ・ヒラメやトコブシなどのといった魚種の種苗放流を実施する。 ・アオリイカ産卵床設置事業を実施する。
漁業コスト削減のための取組	（1）全漁業種類共通 ・船底清掃と減速航行、出漁時間の前倒しを徹底し、省燃油効果のある船底塗料の使用することで燃料使用量の削減を図る。 ・各種公的支援事業の活用を検討し、新たな主機関や省エネ機器の導入による燃油消費量の削減を図る。 ・漁業経営セーフティーネット構築支援事業、漁業収入安定対策事業の加入を促進し、制度加入漁業者の漁業経営の安定化を図る。 （2）きんめだい釣り漁業 ・キンメダイ漁場で掃海事業を実施し、漁場を保全する。 （3）近海まぐろ延縄漁業 ・南方漁場での操業を控え、他の漁場を選択することで燃油使用量を削減する。
漁村の活性化のための取組	・高知県漁業就業支援センターや国が漁業就業フェアへ参加し、新規漁業就業者の確保に努める。また、高知県漁業就業支援センターの研修制度を活用することで就業のミスマッチを回避し、就業者の定着を促進する。
活用する支援措置等	・漁業経営セーフティーネット構築支援事業 ・漁業収入安定対策事業 ・高知県燃油等高騰緊急対策設備投資支援事業費補助金 ・クロマグロ混獲回避活動支援事業

4 年目（令和 9 年度） 所得向上率（基準年比）16.56%

漁業収入向上のための取組	(1) 定置網漁業 ・1 大敷経営体ではキハダの漁獲盛期 3 か月において高鮮度処理を実施する。他の 3 大敷においても取組を広げ、まずは試験的に高鮮度処理を旬の時期 1 か月に限り実施する。 ・地域ブランド「室戸春ぶり」の知名度向上について、イベントや販促物、メディアを活用してブランドを PR し、知名度向上を図る。 ・地元ならびに県内で実施されるイベントへ「定置朝どれ鮮魚」を出品し、知名度向上を図る。 (2) きんめだい釣り漁業 ・地元ならびに県内で実施されるイベントで鮮魚や加工品を販売し、知名度向上を図る。 ・ふるさと納税やネット販売でキンメダイを扱う業者に新たに製作した販促資材を配布し、商品発送時に同梱してもらい、全国の消費者にアピールする。 (3) 近海まぐろはえ縄漁業 ・内臓を抜く高鮮度処理の取組を実施する。 (4) その他漁業 ・ヒラメやトコブシといった高単価魚種の種苗放流を実施する。 ・アオリイカ産卵床設置事業を実施する。
漁業コスト削減のための取組	(1) 全漁業種類共通 ・船底清掃と減速航行、出漁時間の前倒しを徹底し、省燃油効果のある船底塗料の使用することで燃料使用量の削減を図る。 ・各種公的支援事業の活用を検討し、新たな主機関や省エネ機器の導入による燃油消費量の削減を図る。 ・漁業経営セーフティーネット構築支援事業、漁業収入安定対策事業の加入を促進し、制度加入漁業者の漁業経営の安定化を図る。 (2) きんめだい釣り漁業 ・キンメダイ漁場で掃海事業を実施し、漁場を保全する。 (3) 近海まぐろ延縄漁業 ・南方漁場での操業を控え、他の漁場を選択することで燃油使用量を削減する。
漁村の活性化のための取組	・高知県漁業就業支援センターや国が漁業就業フェアへ参加し、新規漁業就業者の確保に努める。また、高知県漁業就業支援センターの研修制度を活用することで就業のミスマッチを回避し、就業者の定着を促進する。
活用する支援措置等	・漁業経営セーフティーネット構築支援事業 ・漁業収入安定対策事業 ・高知県燃油等高騰緊急対策設備投資支援事業費補助金 ・クロマグロ混獲回避活動支援事業

5 年目（令和 10 年度） 所得向上率（基準年比）18.03%

漁業収入向上のための取組	(1) 定置網漁業 ・4 大敷においてキハダの高鮮度処理を盛漁期の 3 ヶ月間実施する。 ・地域ブランド「室戸春ぶり」の知名度向上による単価向上について、イベントや販促物・メディアを活用してブランドを PR し、知名度向上を図る。 ・地元ならびに県内で実施されるイベントへ「定置朝どれ鮮魚」を出品し、知名度向上を図る。
--------------	--

	(2) きんめだい釣り漁業 ・地元ならびに県内で実施されるイベントで、新たに制作したリーフレット等の販促物を用いた販売促進活動を実施する。 ・地元ならびに県内で実施されるイベントで鮮魚や加工品を販売し、知名度向上を図る。 ・ふるさと納税やネット販売でキンメダイを扱う業者に新たに製作した販促資材を配布し、商品発送時に同梱してもらい、全国の消費者にアピールする。 (3) 近海まぐろはえ縄漁業 ・内臓を抜く高鮮度処理の取組を実施する。 (4) その他漁業 ・ヒラメやトコブシといった高単価魚種の種苗放流を実施する。 ・アオリイカ産卵床設置事業を実施する。
漁業コスト削減のための取組	(1) 全漁業種類共通 ・船底清掃と減速航行、出漁時間の前倒しを徹底し、省燃油効果のある船底塗料の使用することで燃料使用量の削減を図る。 ・各種公的支援事業の活用を検討し、新たな主機関や省エネ機器の導入による燃油消費量の削減を図る。 ・漁業経営セーフティーネット構築支援事業、漁業収入安定対策事業の加入を促進し、制度加入漁業者の漁業経営の安定化を図る。 (2) きんめだい釣り漁業 ・キンメダイ漁場で掃海事業を実施し、漁場を保全する。 (3) 近海まぐろ延縄漁業 ・南方漁場での操業を控え、他の漁場を選択することで燃油使用量を削減する。
漁村の活性化のための取組	・高知県漁業就業支援センターや国が漁業就業フェアへ参加し、新規漁業就業者の確保に努める。また、高知県漁業就業支援センターの研修制度を活用することで就業のミスマッチを回避し、就業者の定着を促進する。
活用する支援措置等	・漁業経営セーフティーネット構築支援事業 ・漁業収入安定対策事業 ・高知県燃油等高騰緊急対策設備投資支援事業費補助金 ・クロマグロ混獲回避活動支援事業

(5) 関係機関との連携

- ・芸東水産物の認知・魚価向上に取り組む漁業者団体である「芸東水産業改良普及協議会」と連携し、PR活動を積極的に継続実施することで、さらなる認知度向上を図る。

(6) 取組の評価・分析の方法・実施体制

- ・漁業者・漁協・県担当者が各1名以上ずつ集まり、プラン進捗状況の確認及び課題について年1回以上協議する。

4 目標

(1) 所得目標

漁業者の所得の向上 10%以上	基準年	
	目標年	

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

--

(3) 所得目標以外の成果目標

大型定置網漁業における地域ブランド「室戸春ぶり」による魚価単価の向上	基準年	平成 30 年～令和 4 年 (5 中 3 平均) :	231.2	(円/kg)
	目標年	令和 10 年度 :	255.2	(円/kg)
大型定置網漁業における新規就業者の確保	基準年	平成 30 年～令和 4 年 (5 中 3 平均) :	5	(名)
	目標年	令和 10 年 :	6	(名)

(4) 上記の算出方法及びその妥当性

【大型定置網漁業における地域ブランド「室戸春ぶり」による魚価単価の向上】 室戸春ぶりの取組は令和 6 年の 1 回しか行われていないことから、数量は今後も基準年と同程度の水揚量で、普通のブリとブランド魚の比率が令和 6 年と同程度とした。平均単価は令和 6 年度にブランド魚が普通のブリと比較して 210 円高かったことを踏まえ、3 月から 5 月におけるブリの水揚げ金額を算出した。 目標値はこの計算結果より基準年の 5 中 3 平均である 231.5 円/kg から PR 等の取組で 5 年後には 10.4% 向上した 255.2 円/kg に向上すると見積もられ、毎年 2.08% 向上とした。当地区における当事者の取組の実績値を元に算出していることから、目標の設定値は無理なく妥当であると判断した。 【大型定置網漁業における新規就業者の確保】 基準年の数値については、大型定置網漁業 4 経営体の所得目標における 5 中 3 の年度の平均値を使用した。 目標値は、各大型定置網漁業経営体が高知県漁業就業支援センターの就業前の研修制度の活用による就業のミスマッチ回避や、漁業就業フェアへの参加による経営体のアピールといった取組により新規漁業就業者の確保に努めることで、無理なく目標値を達成できると判断した。

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
漁業セーフティネット構築事業	漁業者と国の拠出により、燃油価格などが高騰したときに補填金を交付する →漁業経費の削減に寄与する

漁業収入安定対策事業	計画的に資源管理に取り組む漁業者に対して、漁業共済の経営安定機能をさらに強化する。 →水産資源の管理・回復を図る漁業者の収入の安定等を図る
高知県燃油等高騰緊急対策設備投資支援事業費補助金	漁業セーフティネット構築事業を活用している漁業者について、省力化やデジタル化、省エネに関連する機器の導入について、一定の費用を県が補填する →大型定置網漁業においてはユビキタス魚探、釣り漁業や近海まぐろはえ縄漁業においては GPS プロッタや無線機等の設備や機器の導入に活用できる
クロマグロ混獲回避活動支援事業	混獲されたクロマグロを放流した際に、その作業費用を補填 →大型定置網漁業においては、クロマグロの資源保護により、漁業収入の向上に寄与する